

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2018

1

vol.241



年頭の挨拶

福島県酪農業協同組合

代表理事組合長

宗 像 実



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、組合事業にご支援・ご協力を頂いておりますことに対して、厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災並びに東京電力福島原子力発電所事故からすでに六年十カ月が経過しましたが、本組合の四十九戸の酪農家は未だ酪農再開には至っておりません。

昨年は、三月には川俣町山木屋地区と飯館村、浪江町の帰還が実施され、避難指示区域の約七割で避難指示が解除されましたが、住民の帰還も進まず、被災酪農家の復興も全く進んでいないのが現状です。

また、生乳の放射性物質検査や自給飼料のモニタリング検査などが継続されており、生乳生産に大きな影響を及ぼしています。

この様な中で、復興牧場「株式会社フェリスラテ」の経営は、二産目から三産目と順調

に経過しており、出荷乳量は目標を上回って推移しています。

新たな動きとしては、川俣町山木屋地区と南相馬市に二つのコントラ組織が誕生し、自給粗飼料の作付・生産が開始されたことと、南相馬市並びに川俣町山木屋地区における、第二・第三の復興牧場建設計画に着手出来たことは新たな希望であり、事業実現に向け組合員の皆様方をはじめ、行政・関係機関各位のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

世界では、重要関心事であり続けたTPP協定は、米国のトランプ大統領の公約通りに協定からの離脱を正式に決定し漂流する中で、日本が主導する形で米国を除く十一カ国が、TPP協定の合意内容をほぼ踏襲する新協定「CPTPP協定（TPP11協定）」として発効させることに大筋合意しました。

また、EUとの経済連携協定も最終合意を確認するなど、国内酪乳業界の国際競争環境に劇的な変化が到来することとなり、酪乳業界には大きな打撃となることが予測されます。

国内では、政府・規制改革会議による指定団体制度改革論議は、「農業競争力強化プログラム」の策定を経て、五十年間日本酪乳業発展に多大な貢献を果してきた現行の「加工原料乳生産者補給金等暫定措置法（不足払い法）」は廃止され、新たに

平成三十年四月から恒久法である「畜産経営の安定に関する法律（畜安法）」の中に位置付けされました。

これらの新たな制度運用を実施するにあたり、昨年十月に農水省が政省令と生産局長通知を示しようやく動き出しましたが、具体的な条件やルールに関しては、不透明な部分が多く四月からの施行が本当に可能なのか疑問視されています。

本年は、組合の基本方針を決定する「第七次中期経営三

新年を迎えて

福島県農林水産部

部長 佐竹 浩



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、日ごろより本県酪農・乳業の振興を通じて、県勢の発展に御尽力いただき、深く感謝を申し上げます。また、安全・安心な生乳を

「年計画」の策定の年であり、グループ企業である酪王乳牛（株）・（株）らくのう乳販との連携を密にし、将来に亘り組合員の負託に応え得る組織として積極的に事業を展開する所存であります。

本年も福島県酪農の力強い発展のため、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げますとともに、組合員の皆様にとって幸多い年でありますことをお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。



生産するため、組合員の一人一人が、日夜、細心の注意を払い、愛情を込めて乳用牛の飼養管理をされており、そのためまぬ御努力に心から敬意を表します。

東日本大震災から、間もなく七年を迎えようとしております。この間、震災により甚大な被害を受けた浜通りにおいて避難指示の解除が進み、一部地域で酪農が再開されるとともに、復興牧場が順調に

運営され、また、県内で自給飼料の生産が回復するなど、本県の酪農は着実に再生してきています。

一方、最近の酪農を巡る情勢は、欧州連合との経済連携協定や環太平洋パートナーシップ協定が合意され、輸入乳製品の増加が懸念されることから、酪農経営基盤の強化を図ることが極めて重要であると考えております。

このような中、貴組合におかれましては、高能力乳用雌牛や性別別受精卵の導入に積極的に取り組まれるとともに、生乳の安定供給に努められるなど、生産基盤の回復と経営安定に向けた取組は、本県酪農振興に大きく貢献しております。

また、第四十六回全国酪農青年女性酪農発表大会・農経営発表の部において、西郷村の雪割牧場（有）の田中進氏が最優秀となる農林水産大臣賞を受賞され、さらには、第五十八回福島県農業賞（復興・創生特別賞）を川内村の酪農家、井出淳氏が受賞されました。両氏におかれましては、先代から続く酪農経営に真摯に取り組み、被災後には幾多の困難を乗り越え、地域に根差した酪農経営を実現された

ことが評価され受賞の運びとなりました。両氏の活動は、力強い復興を成し遂げていくための道筋を明るく照らし続けており、これまでの御活躍・御尽力に対し、改めて敬意を表します。

県では、いのちを支え、未来につなぐ新生ふくしまの「食」と「ふるさと」の実現を目標に掲げる「ふくしま農林水産業新生プラン」に基づき、生産基盤の回復や生産性の向上を積極的に支援して、本県の豊かで魅力ある農林水産業を創造し、持続的に発展を続ける誇りあるふくしまを若い世代に引き継いでいく考えです。

新年のご挨拶

日本酪農政治連盟福島県支部連合会

会長 佐藤 金正



申し上げます。

会員の皆様には常日頃から温かい御支援・御理解のもと酪農政治連盟活動に御協力をいただいておりますことに心から御礼を申し上げます。

輝かしい平成三十年の新春にあたり、心から御祝いを申

議院選挙におきましては、組



織が推薦を決定いたしました五名の方々がすべて当選されましたことに御礼を申し上げます。そしてさつそく酪農畜産政策の確実な実行のために酪政会にすべて加入いただき、積極的な政治活動をされていることを報告いたしたいと思ひます。

平成三十年度の酪農対策等の政策の実行につきましてはマスコミ報道にありますように十二月末現在、政府原案といたしまして、新たな加工原料乳生産者補給金制度に基づく交付単価は一キロあたり十円六十六銭とし昨年に比べ十銭引き上げで決着いたしました。うち条件不利地域からの集送乳経費を助成する「集送乳調整金」は同二円四十三銭



となります。

また肉用牛の肥育農家の経営安定対策（牛マルキン）は子牛価格の異常な高騰を踏まえ平成三十年四月から二年間緊急的に補填率を八割から九割に引き上げられます。

また農業生産用の軽油税の減免については向こう三年間継続される見込みであります。さらに継続要望として、畜産クラスター事業やヘル

新年を迎えて

全国酪農業協同組合連合会 仙台支所

支所長 佐藤 弘



パー支援事業そして更なる省力化につながる機械等の導入支援事業等の実現に向けて引き続き尽力して参る考えでありますので、会員皆様の変わりぬ御理解・御協力をお願いいたします。

最後になりますが、会員皆様にとりまして、すばらしい一年でありますことを祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より全酪連の各事業に特段のご配慮、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて昨年は、酪農政策の根幹ともいえる「加工原料乳生産者補給金等暫定措置法」が大幅に見直され、「改正畜安法」と

して六月に成立・公布されました。現行の指定団体による全量委託の原則は事実上廃止され、生乳販売事業者に対し生産された生乳の一部のみを部分委託（販売）することができるようになったことが大きな改正点となっております。本年四月よりこの新たな補給金制度に移行することとなつていますが、部分委託の拡大により需給調整等が混乱し結果的に酪農家にとって不利益とならないよう、今まで以上に酪農家と組織が一致団結し

て対応していくことが必要です。

そのような状況の中、貴組合におかれましては第六次中期三か年計画の最終年として、福島県酪農の復興という命題に尽力されておられますことに対し心より敬意を表する次第です。特に昨年、混合飼料製造・供給事業という二十年続いた事業の終了を英断し、組合員である酪農家皆様の協力を得ながら、新たな配合飼料の供給に移行できたことは、弊会といたしまして深く感謝申し上げます。

また昨年七月に札幌で開催された第四十六回全国酪農青年女性会議の酪農経営発表大会において、雪割牧場有限公司の田中進様が最優秀賞となり、栄えある農林水産大臣賞を受賞されましたことは福島県のみならず、東北全体に明るい話題を提供することとなりました。全国大会は東北酪農青年女性会議を含め、北海道から九州まで全国六ブロックの代表者で争われたわけですが、自らの酪農経営を次世代に継承していくことを明確に掲げ、さらには地域の中で自らが果たすべき役割をきちんと認識して、それを着実に

実践していた点において雪割牧場の取り組みが一歩抜きん出ていたとの評価であり、歴代五人の最優秀受賞者を出している福島県の酪農技術のレベルと生産性の高さを証明するものであると考えます。

東電原発事故から七年を経過しつつある現在も、県内の酪農においては、収穫牧草給与にかかる放射性物質リスクの管理、未除染永年牧草地の問題あるいは、風評被害など同事故由来の課題に継続的に取り組んでいかなければなりません。弊会といたしまして、福島県酪農の復興と持続的な酪農経営に向けて、酪農の現場に寄り添い、皆様と共に、尚一層努力して参る所存です。今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後に貴組合と組合員の皆様のお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。



県中やまびこ会研修旅行



十一月六日(月)県中やまびこ会では研修旅行を実施し、会員二十一名で会津方面の紅葉を楽しんで来ました。まずは猪苗代町の紅葉の名所、土津神社へ向かいました。

当日は晴天に恵まれ最高の紅葉日和でした。境内は、

もみじはもちろんイチョウも美しく赤と黄色が同時に染しめ、また青い空とのコントラストが最高でした。

紅葉目的で行ったのですが、境内は落ち着いた雰囲気、珍しい白い鳥居・亀石に載った日本最大の石碑など不思議なものも数多く興味を引かれる神社でした。

時間があれば、ゆっくり散策したいくらいでした。

続いて移動して道の駅あいつ湯川・会津坂下へ向かい農家レストランにて昼食をとりました。ビュッフェスタイルで地元の旬の食材(野菜)を中心に使用したオリジナル創作メニューが染しめ、ここでもしか味わえないヘルシーな美味しい料理をいただきました。食事後、道の駅内の、あいつ物産館・農産物マーケットでお土産



を買い、次の国指定重要文化財になっている天鏡閣へと向かいました。外観も美しく当時の皇族の華やかな生活ぶりを伺い知ることができました。見学後、館内で紅茶とスイーツセットを楽しみながら、久しぶりに集まった会員同士、話も弾み親睦を深められました。あつと言う間に時間が過ぎてしまいました。が、仕事も忙しい中のリフレッシュもでき、有意義な一日を過ごす事が出来ました。

平成29年度東北酪農青年女性会議秋季研修会

渋谷なかよし交流

40周年記念式典開催

平成二十九年十一月二十三日(木)に
東京都渋谷区の渋谷東武ホテルにて



なかよし交流四十周年記念式典が開催され、福島県からは福島県酪農青年研究連盟会長 佐藤正仁様をはじめ、七名が参加致しました。まず、渋谷少団連サポートクラブ会長の鈴木貴代子様よりご挨拶をいただき、「この事業が四十年続いたのは東北酪農青年女性会議と少団連サポートクラブ（旧渋谷区少年団体連盟）の協力の賜物であり、これからも交流を続け子供たちに人生の中で一生忘れることのできない素晴らしい思い出を作っていきたい」とお話しいただきました。東北酪農青年女性会議委員長の半澤善幸様からは、「ここ数年色々な



環境の変化で子供たちの交流は一時中断していますが、ファームステイはこれからも形を変えてでも続けていきたい。一人でも多くの子供たちに今一度東北の酪農家にきてもらい、多くの体験や刺激を体感してほしい」と熱意あるご挨拶をいただきました。また、東北酪農青年女性会議委員長の黒沢寛寿様が功労者として表彰されました。

最後に、震災復興の報告として佐藤会長からスライド上映と共に東北・福島の現在について



て発表いただきました。震災後、様々な方からご支援・励ましをいただき、福島は、ここまで復興を遂げられたということを感謝の気持ちを込めて伝えることができました。参加された渋谷と東北の皆さんが一体となり、思い出話に花を咲かせ、久々に再会した仲間との交流を楽しみました。翌二十四日(金)は、平成二十九年度の秋季研修会を兼ねて国会議事堂見学と東京湾港湾施設視察研修に参加して参りました。今後も、両団体の活動を通し、子供たちの未来に向けて豊かな社会を育んでいけるようこの事業を末永く引き継いでいくて欲しいと思います。

酪農青年研究連盟・酪農学園大学 主催 第2回酪農後継者支援研修会 「第54回酪農公開講座」の開催!!



平成二十九年十一月三十日(木)に郡山市安積町の日本全薬工業株式会社 研修管理棟研修ホールにて、酪農学園大学並びに福島県酪農青年



宗像組合長



佐藤会長



石島副学長



西寒水先生



森田先生

農食環境学群 循環農学類 教授 森田 茂様より、「搾乳ロボットを活用し、アニマルウェルフェアを向上させる」

研究連盟が主催となり、第二回酪農後継者支援研修会「第五十四回酪農公開講座」を開催いたしました。開会挨拶を酪農学園大学 副学長 石島力様、主催者挨拶を福島県酪農青年研究連盟会長 佐藤正仁様、開催地挨拶を福島県酪農業協同組合 代表理事組合長 宗像 実より頂戴致しました。宗像組合長からは酪農現場に直結した最新情報を大いに学び、実際の現場でこの講演会の情報と技術を活かして欲しいとお話をいただきました。講演①では、酪農学園大学

をテーマに、「牛の都合に配慮した」飼養管理の実現・搾乳ロボットの普及に伴う乳牛管理システム(牛が動くシステム)の利用についてお話しいただきました。講演②では、酪農学園大学 農食環境学 群循環農学類 助教 西寒水 将様より「ホルスタイン種における性選別精液を用いた後継牛生産と今後の展望」についてお話しいただきました。今回の講演会は、酪農の現場に欠かせない内容だけに酪農家・獣医師・酪農関係者が一〇〇名ほど参加しました。専門的な話を真剣に聞き入っており、酪農後継者にとって今後の経営に極めて役立つ内容になったと感じております。年明け一月には第三回、二月には第四回の酪農後継者支援研修会を開催いたしますので皆様の参加をお待ちしております。



平成29年度海外酪農研修事業 「ロイヤル・ウィンターフェア視察と 米国・カナダ酪農視察研修7日間」へ参加!!



サミット・ホルム牧場訪問

平成二十九年度海外酪農研修助成事業において、十一月八日(水)～十四日(火)七日間の日程で、(一社)全国酪農協会主催の「第二十五回 ロイヤル・ウィンターフェア視察と米国・カナダ酪農視察研修」が開催されました。当組合からは、県南支所(県南酪農研究会所属)の後藤恵子さん、県

南酪農指導所の三浦愛美職員が参加して参りました。

毎年、海外の酪農事情を間近に体験し、貴重な経験をえられる事業として参加者の募集を行っております。この度、米国・カナダ酪農視察研修を終えての報告を参加されたお二人から頂きましたので、掲載いたします。

ロイヤル・ウィンターフェア視察と 米国・カナダ酪農視察研修に参加して

後藤 恵子

今回、第四十六回全国酪農青年女性酪農発表大会経営の部に出場し、目録としてこの海外視察研修に参加させて頂きました。田中さんの代理として行くことになってしまいました。ドッキリです。

〈1日目〉

初めてパスポートを作って、心重く何の想像も持てないまま、成り行きにまかせて、成田空港での結団式。初めてお会いする人ばかりで、名前と顔が一致せず…。(何故か何の不安もないのは、一緒に行く三浦愛美さんがいたからかな…?)

その後、トロントに向けて、長いフライトの始まりです。テレビを見たり、居眠りしたり、ゆっくり休んだような気分でした。そして、無事にトロントへ到着。いざホテルへ! と思いきや、待てど待てど三名分のスーツケースが出てこないというアクシデント。調べてもらうと、手違いでスーツケースはまだシカゴ

でした。次の日にホテルに届けてもらうようお願いし、とりあえずホテルへ。
しかし、予定は大幅に遅れ、夜中にチェックイン。後は眠るだけしか考えませんでした。

〈2日目〉

午前中は、「ナイアガラ観光」です。滝の大きさ、水量、水音に圧倒され、体が引き込まれそうな感覚になります。



した。すごく寒かったです。そして、昨日荷物が届かなかった人が防寒着を借りて二枚重ねで着ていました。工藤阿須加に似た人で、あの寒空によく似合ったベストファッションでした。

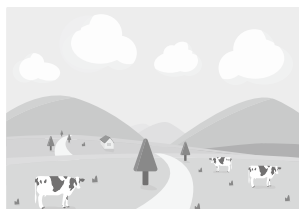


はせず、自家産後継牛で更新しているそうで、私の牧場と経営方針や形態が似ていて、牛を大切に飼っているのが嬉しく思い、親近感が持てたのですが、言葉が通じず伝えられませんでした。それと、牧場を案内してくれたベンさんを含む役員三名で乳牛改良について討論していることが頼もしく思いました。

〈3日目〉

この日は、カナダでは有名な「ロイヤル・ウインターフェア」の視察です。朝から、今年初の雪を見ることになり、外はマイナス十℃と、とても寒い日でした。

会場は、とても広く、迷いババアになりそうなので一人にならないうちに注意し、あまり場内を歩き回りませんでした。色んな農産



午後は、「サミットホルム牧場」の牧場視察です。バスが到着すると、息子さんのベンさんが快く出迎えてくれました。搾乳頭数四四〇頭を従業員パート十五名、役員四名で回っていて、平均産次は四・二産だそうです。導入

物や機械の展示会もありました。小さい子供からお年寄りまで、多くの人が集い、農畜産業が一般の人にも身近な存在なのだろうか？ここに出場している畜主さんはどんな経営をしているのだろうか？

〈4日目〉

朝三時にホテルを出発。朝方、夢を見ました。「父（九十七歳）が介護施設から歩いて帰って来てしまった夢を！……ここは日本じゃない。連絡付かない。」考える間もなく、飛行機を乗り継ぎ、サンフランシスコへ。

サンフランシスコに着いた時、日本に着いたと勘違いして、喜んでしまいうでした。そして、フィッシャーマンズワーフへ。そこに向かう途中、サーブスエリアのないただ走るだけの広い高速道路。そして、日本みたいにコンパクトではないトラック（トレーラー？）、その中央に鉄道が走っていることにびっくりでした。



その後、ゴールデンゲートブリッジへ。移動中には、脱獄不可能と言われ

たアルカトラズ刑務所がある島も見えました。

この日は、観光終了後、ホテルに戻り、全酪連サンフランシスコ支所の方による講義がありました。米国の酪農事情、乾牧草についての話を聞きました。

〈5日目〉

この日は、世界最大のチーズ工場「ヒルマリーチーズ工場」の見学です。バスに乗って、工場の外観を見ながらの見学であり、少し残念な部分もありました。

このチーズ工場は、十一名の酪農家が出資して作られたもので、工場まで二・五時間以内で集乳できる範囲の





ナイアガラの滝にて

約二八〇件の酪農家の牛乳を受け入れているそうです。約二十三十のタンクローリーの大きさには、とても驚きました。また、この地域では水が大変重要で、工場からでた排水もリサイクルし、利用しているそうです。ビクターセンターでは、チーズができるまでの工程、牛グッズやたぐさんの種類のチーズが販売されていましたが、時間が短くて慌てて買い物をしてしまったこと、心残りです。それでも楽しかった。

〈6・7日目〉

研修も一通り終わり、日本に向けて帰国の路へ。

最後に…

初めての海外（何の想像も持てなかった所）で、いい酪友と出会うことができました。

今回の海外研修に参加するにあたり、送り出してくれた牧場の仲間、家族にも感謝したいと思います。

今回出会った酪友のみなさん、視察旅行にあたりお世話になりました飯田さん、子安さん、そして一緒に行った三浦愛美さん、七日間ありがとうございました。とっても楽しかったです。

帰国してすぐ、「やっぱり日本はいいな。雪割牧場のみんなに早く会いたい。早く「ホッ」としたい!」とここだけの話。笑。そして海外には二度と行くことはないネ!」
（ハ・ハ）

平成29年度

県北支所組合員研修会 開催される

乳房炎低減！正しい搾乳と
乳房炎ワクチンの利用

十一月二十八日(木)午前十一時より「ながめの宿 光雲閣」に於いて、組合員四十名が参加し県北支所組合員研修会が開催されました。酪農経営における損失原因の最も大きな原因である乳房炎の低減をテーマとして研修されました。

安斎運営委員長より挨拶の後、「乳房炎による地域の損失金」について平尾指導員から、「乳房炎を予防するための正しい搾乳手順」について松田獣医師から、「乳房炎ワクチン」

について米長獣医師から説明がありました。研修後は懇親会で日頃の疑問点など更に研修を深めました。

ながめの宿 光雲閣にて
行われた県北支所組合員
研修会の様子



平成
29
年度

第二十八回



ミルキー図画コンクール

審査結果発表



本年度開催のミルキー図画コンクールには幼稚園（年少・年長）の部、小学校（低学年・中学年・高学年）の部合せて一、八四七作品ものご応募を頂くことができました。多数の作品の中から今回、最優秀賞（各部門一名・計五名）、優秀賞（各部門二名・計十名）、優良賞（各部門七名・計三十五名）を選出させていただきました。

審査委員長に福島市立御山小学校校長の阿部正明様と審査員に県畜産課生沼様、本会会長の三名にて、十一月二十七日に福島市酪農会館にて部門ごとに厳正なる審査を行いました。

審査員は選ぶのに毎年たいへんご苦労されておりますが、やはり子供らしく元気が伝わってくるような作品が選出されていました。この度全

五十作品の中から最優秀賞を受賞された児童・生徒の通園通学する、会津慈光こども園と郡山市立日和田小学校に直接訪問し表彰式を行いました。

入賞された全五十作品は、平成三十年三月十一・十二日に福島市コラッセふくしま一階アトリウムと、郡山市モルティ一階展示スペース（日時未定／調整中）にて展示いたしますので、ぜひ足をお運びください。（郡山会場の開催日時は追って県酪農協HPにてご案内申し上げます。）

最後に、このようにたくさんのお応募を頂くのは二十八年に及ぶ歴史と実績の賜物と、継続して開催できたことに関係者一同改めて感謝申し上げます。

最優秀賞受賞作品と受賞者は以下のとおりです。



郡山市立日和田小学校にて



会津慈光こども園にて



郡山市立日和田小学校にて



郡山市立日和田小学校にて

幼稚園の部（年長組）

褒 賞	幼稚園名	年齢	氏 名
最優秀賞	相馬市立飯豊幼稚園	5才	山下 恭叶（やましたきょうと）
優秀賞	慈光第二幼稚園	5才	横山 蒼依（よこやまあおい）
	相馬市立八幡幼稚園	5才	武内 絢音（たけうちあやね）
優良賞	会津慈光こども園	5才	佐藤 夏帆（さとうかほ）
	相馬市立日立木幼稚園	5才	村上 琉大（むらかみりお）
	会津慈光こども園	6才	田中 柚希（たなかゆずき）
	岩代学園岩代幼稚園	5才	根本梨央奈（ねもとりおな）
	相馬市立大野幼稚園	6才	新開心優希（しんかいこゆき）
	二本松市立小浜幼稚園	6才	渡辺 悠仁（わたなべはるひと）
	二本松市立小浜幼稚園	5才	佐藤 成恵（さとうなつめ）

幼稚園の部（年少組）

褒 賞	幼稚園名	年齢	氏 名
最優秀賞	相馬市立大野幼稚園	4才	石橋 敬士（いしばしけいし）
優秀賞	会津慈光こども園	4才	渡部 悠晟（わたなべゆうせい）
	相馬市立八幡幼稚園	4才	但野 葉月（ただのはづき）
優良賞	相馬市立みどり幼稚園	4才	國分 桜志（こくぶんおうし）
	会津慈光こども園	4才	宇都木璃乃（うつぎりの）
	相馬市立飯豊幼稚園	4才	稲垣 心結（いながきこころ）
	相馬市立飯豊幼稚園	4才	佐藤 愛（さとうこころ）
	相馬市立八幡幼稚園	4才	杉岡 和佳（すぎおかわか）
	相馬市立日立木幼稚園	4才	高橋穂乃花（たかはしほのか）
	相馬市立大野幼稚園	4才	伊東 奏音（いとうかなと）

小学校の部（高学年）

褒 賞	小学校名	学年	氏 名
最優秀賞	郡山市立日和田小学校	5年	飯塚 妃菜（いいつかひな）
優 秀 賞	伊達市立伊達東小学校	6年	加藤 愛萌（かとうあめ）
	郡山市立富田東小学校	6年	坂内 萌（ばんないもえ）
優 良 賞	郡山市立富田東小学校	6年	佐藤 萌衣（さとうめい）
	会津若松市立門田小学校	6年	齋藤 紗矢（さいとうさや）
	桜の聖母学院小学校	6年	川村 彩人（かわむらあやと）
	白河市立白河第二小学校	5年	鈴木 暖平（すずきだんぺい）
	会津若松市立城南小学校	6年	武藤萌々香（むとうももか）
	福島市立荒井小学校	6年	村山 愛楓（むらやまあいか）
	郡山市立富田東小学校	6年	橋本 健市（はしもとけんいち）

小学校の部（低学年）

褒 賞	小学校名	学年	氏 名
最優秀賞	会津若松市立城南小学校	2年	和須津辰也（わすづたつや）
優 秀 賞	郡山市立大成小学校	2年	齋藤 夏乃（さいとうかの）
	西会津町立西会津小学校	2年	武藤ひので（むとうひので）
優 良 賞	郡山市立行健小学校	2年	山代 晴心（やましほはると）
	会津若松市立荒舘小学校	1年	星 陽和子（ほしひなこ）
	福島市立鳥川小学校	2年	鈴木ばんり（すずきばんり）
	西郷村立小田倉小学校	2年	大倉 夕奈（おおくらゆな）
	郡山市立富田東小学校	1年	佐久間大地（さくまだいち）
	郡山市立日和田小学校	1年	古川 碧（ふるかわあお）
	桜の聖母学院小学校	2年	後藤 由愛（ごとうゆな）



● 幼稚園の部（年少組）4才 石橋 敬士 ●



● 幼稚園の部（年長組）5才 山下 恭叶 ●



● 小学校の部（低学年）2年 和須津辰也 ●



● 小学校の部（中学年）3年 大友 結月 ●



● 小学校の部（高学年）5年 飯塚 妃菜 ●

今年で4年目!!

福島県牛乳普及協会主催!!

牛乳だいすき! お料理だいすき!

親子でミルククッキング教室

を福島市・会津若松市で開催!



第2回・12月16日(土) 会津若松市 若松ガス



第1回・11月25日(土) 福島市 福島ガス

去る十一月二十五日(土)と十二月十六日(土)の両日、今年で四年目となる『親子ミルククッキング教室』を開催いたしました。今年からは地域のガス会社と福島県牛乳普及協会にて共催する初めての試みであり、地域ごとの特色や素材などを活かし、皆様と触れ合う機会をなるべく増やしながら数多く開催していきたいと考えております。

ガス会社も単独で定期的に料理教室を開催していますが、「牛乳・乳製品を使った料理」で開催するテーマ性の強い料理教室は、お互いの持ち味を活かしたとても良い企画になりました。

本企画第一回目の福島会場は、市内の小学校の土曜授業の日に当たってしまい小さなお子様連れの参加が目立ちましたが、二回目となる若松会場は小学校高学年の子供たちも多く、賑やかで美味しそうな香りが充満する教室内での楽しいひと時を和気あいあい過ごすことができました。どちらの会場も和やかな雰囲気の

中、参加者からは親子で楽しむ調理がとても好評で、美味しいだけではなく親子の笑顔にあふれていました。食後には牛乳普及協会やガス会社

からのクイズの時間を設け、牛や牛乳に関する出題で盛り上がりました。牛に胃袋が四つあるということが一般にはあまり知られていないことを私たちも学びましたが、参加したお母さんに聞くと食後のデザートは別腹と言って、二つの胃を持つのがお母さんだという真実が明るみになりました(笑)

全てのカリキュラムを終了し、最後に記念撮影後をして解散となりました。

私たちスタッフもこうしたイベントを通じて、飲用向けばかりではなく、牛乳・乳製品を使うと「さらに料理が美味しくなる」ことを発信し、今後も普及促進に努めていきたいと思えます。

ぜひ皆様も牛乳・乳製品を使い親子で料理を作って楽しむ「ミルククッキング教室」に参加してみませんか? ユーモラスで明るい雰囲気のなかで、小学生と保護者を対象に食材や調理への関心を高め、料理の楽しさや食の大切さを学んでもらう料理教室です。

次回以降の参加者もまだまだ募集中です。皆様ふるってご応募ください。お待ちしております!



次 回 開 催 案 内

- ◆開催日時：第3回開催：平成30年3月3日(土)
福島会場／福島ガスショールーム「プロメ」(福島市栄町12-32 ユートピアビル)
- 第4回開催：平成30年3月17日(土)
会津若松会場／若松ガスショールーム「クッキングスタジオ」(会津若松市千石町4-16)
- ◆参加費用：両会場とも無料
- ◆開催時間：両会場とも午前10時受付(10時30分開始)、午後2時頃終了予定
- ◆申込方法：電話にてそれぞれの会場にお申し込みください。
福島会場／024-522-1690 若松会場／0242-28-1229
- ◆募集人員：両会場とも、8組16名様を先着順受付

雪割牧場(有) 田中 進さん 受賞祝賀会 於・鹿島ガーデンヴィラ

平成二十九年十二月一日(金)正午より、鹿島ガーデンヴィラにおいて、酪農発表大会で農林水産大臣賞を受賞した雪割牧場(有)の受賞祝賀会が開催されました。

福島県農林水産部長や西郷村村長など総勢約一〇〇名が出席し、盛大にとりおこなわれました。

発起人である大竹芳雄 県南支所運営委員長から挨拶を頂き、福島県農林水産部長佐竹浩様他、多くの方から祝辞を頂きました。

祝賀会では、農林水産大臣賞を受賞された田中進さんより「開拓精神を受け継ぎ、酪農共同体として次世代へ継承」地域営農の永続性を求めて」と題した発表があり、「大会に出場して多くの出会いがあり、感謝したい」と述べられました。また、祝宴として福島県やまびこ



会会長中瀬明美さんより歌のご披露があり、大盛況となりました。

最後には後藤誠社長からお礼の言葉として、「今後も開拓地を荒廃させない為、ビジョンを創り、何らかのアクションを起こすことが必要になっている。当牧場が共同経営体として、地域と協力し、頑張っていきたい」と今後の決意を述べられました。

関係者の皆様、本当におめでとうございました。今後、雪割牧場(有)の益々のご発展をご期待申し上げます。

組 合 の 動 き 12 月

12月7日	東北生乳販連第5回理事会	12月22日	東北生乳販連臨時総会
12月8日	全国酪農協会役員会・臨時総会	12月22日	J Aグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償福島県協議会役員会・臨時総会
12月8日	第7次中期経営3カ年計画第3回幹事会		
12月11日	乳牛せり市場		
12月13日	福島県獣医師会理事会	12月25日	県北支所運営委員会
12月18日	浜支所運営委員会	12月25日	福島県農業会議常設審議委員会
12月19日	酪王乳業(株)第9回取締役会	12月26日	福島県生乳委託者委員会幹事会
12月20日	県中支所運営委員会	12月27日	第9回経営検討会
12月21日	県南支所運営委員会	12月28日	辞令交付式
12月22日	東北生乳販連第6回理事会	12月29日	御用納め

◎退職職員 (12月31日付 自己都合退職)

職 員 佐川 優子 (所属：県南酪農指導所)

嘱託職員 桑原 志織 (所属：生産指導課)

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2017年11月30日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
支 所 名 称	戸数 (避難戸数)	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度 頭 数	前年比	1 戸当 り頭数
	戸	戸	%	頭	頭	乾乳 妊娠	妊娠 搾乳	空胎 搾乳	小計	頭	頭	%	頭
県 北 支 所	(7) 41	41	100.0	372	134	206	469	983	1,658	2,164	2,219	97.5	52.8
県 中 支 所	86	87	98.9	295	129	199	400	958	1,557	1,981	1,993	99.4	23.0
浜 支 所	(34) 10	10	100.0	70	43	13	62	139	214	327	297	110.1	32.7
県 南 支 所	49	50	98.0	609	253	294	603	1,173	2,070	2,932	2,967	98.8	59.8
JAふくしま未来(飯館)	(11) 0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
県 酪 合 計	(52) 186	188	98.9	1,346	559	712	1,534	3,253	5,499	7,404	7,476	99.0	39.8

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
支 所 名 称	2017 12月	2018 1 月	2018 2 月	2018 3 月	2018 4 月	2018 5 月	2018 6 月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	戸	kg	kg	kg	kg
県 北 支 所	116	140	120	118	124	70	121	41	38,110	930	26.2	23.0
県 中 支 所	115	130	94	103	82	74	130	85	31,712	373	23.4	20.4
浜 支 所	16	10	15	17	15	26	19	8	4,764	596	23.7	22.3
県 南 支 所	139	160	147	143	140	160	261	49	46,757	954	26.3	22.6
JAふくしま未来(飯館)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
県 酪 合 計	386	440	376	381	361	330	531	183	121,343	663	25.3	22.1

平成29年度受託乳量の状況

平成29年11月の受託乳量は、県全体で前年比99.0%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,637ト、前年比99.3%（対前年同月26ト減）、全農県本部は1,830トの対前年比98.5%（対前年同月28ト減）の実績であ

りました。東北生乳販連の受託実績については、前年比98.7%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比100.3%であります。（北海道：102.4%、都府県97.8%）

平成29年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

11月東北全体の用途別販売状況については、飲用向けが前年比101.8%、醗酵乳向けが112.9%、チーズ向けが106.2%と前年を上回り、加工乳向けが61.9%、学乳向けが98.1%、生クリーム向けが58.0%と前年を下回り推移した。なお、H29年4月より加工原料乳生産者補給金の対象数量に生クリーム向けが加算されることとなりましたが、補給金対

象外となる生クリーム向け販売数量を醗酵乳向け等に振り替えているために、生クリーム向け前年比が大幅に減少しました。

なお、今月の当組合酪王乳業での生乳使用量は日量平均50.6トで、本組合生産量の41.7%、県全体生産量の27.8%を処理しています。

平成29年度11月別支払乳価表

11月分支払乳価については、前年と比べ、飲用向け及び醗酵乳向け・生クリーム等向け価格は据置き、加工向け及びチーズ（ハード）向け1円値上げ、チーズ（ソフト）向け2円値上げで取引され、前年対比でプール乳価、補給金単価合せて前年より0円485銭上回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,209,464千円 単価107.667円
 ■内 福島県分プール乳代金① 517,234千円 単価107.667円
 プール対象外乳代金② 95,712千円
 （学乳向け・買取向け乳代金）

合計乳代金①+② 612,946千円 単価112.108円

項 目	29年11月	前年同月	増 減	前々年同月
プール乳価	106円263	105円673	0円590	106円505
補給金単価	0円739	0円844	-0円105	0円682
合 計	107円002	106円517	0円485	107円187

（注）上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

（東北全体11月）

用 途 別	販売乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)
飲 用 向 け	29,960	999.0	101.8
加 工 向 け	1,751	58.0	61.9
学 校 給 食 向 け	2,815	94.0	98.1
醗 酵 乳 向 け	6,209	207.0	112.9
生クリーム向け	954	32.0	58.0
チ ー ズ 向 け	223	7.0	106.2
全乳哺育向け	0	0.0	0.0
合 計	41,912	1,397.0	98.7

団体別受託乳量の状況

団 体 名	11 月 分		
	受託乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)
県 酪 協	3,637	121.2	99.3
全農福島県本部	1,830	61.0	98.5
合 計	5,467	182.2	99.0
東北生乳販連	41,912	1,397.1	98.7
全 国	556,686	18,556.2	100.3

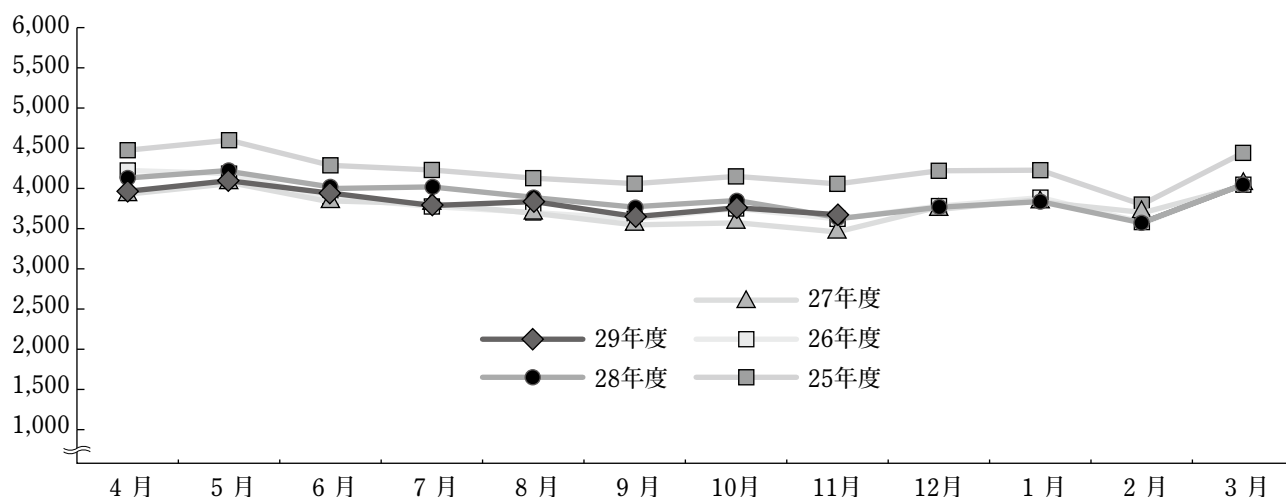
備考

1) 買取乳量を除く

月別受託乳量 県酪協（トン）

年度\月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
25年度	4,476	4,605	4,287	4,231	4,129	4,062	4,149	4,053	4,219	4,276	3,807	4,343	50,637
26年度	4,148	4,185	3,879	3,775	3,703	3,621	3,749	3,620	3,781	3,886	3,577	4,035	45,959
27年度	3,921	4,061	3,836	3,802	3,658	3,513	3,575	3,486	3,668	3,830	3,708	4,071	45,129
28年度	4,094	4,231	4,025	4,029	3,894	3,717	3,839	3,664	3,822	3,889	3,576	4,031	46,811
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637					
前年比%	96.7	97.7	97.9	96.3	97.0	97.4	97.4	99.3					

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002					
28年度	105.156	106.012	106.878	105.825	104.876	107.459	107.162	106.517	104.921	105.283	106.675	104.617	105.948
27年度	105.116	105.882	106.888	105.964	105.240	107.090	107.342	106.859	106.298	105.468	106.726	104.446	106.110
26年度	100.739	102.193	103.829	102.826	101.978	104.278	104.043	104.000	102.000	102.606	103.222	101.321	102.753
25年度	96.846	98.345	99.659	98.837	97.220	99.688	102.698	102.627	100.215	100.738	101.861	99.542	99.856

第266回 県酪協乳牛市場成績

平成29年12月11日開催

購買者数 33名（うち県外12名）

区分	畜種	雌雄	成 立 数 (成 立 率)	最 高 価 格 最 低 価 格	平 均 価 格 (前 回 比)	平 均 体 重 (前 回 比)	平 均 単 価 (前 回 比)
ET和牛 初 生 牛	ET和牛	メス	3 (100)	393,000 326,000	360,000 (94)	76 (70)	4,716 (134)
		雄	31 (97)	639,000 400,000	538,806 (107)	102 (96)	5,257 (111)
	乳 牛	メス	2 (100)	73,000 69,000	71,000 (2,367)	56 (137)	1,279 (1,752)
		雄	90 (100)	190,000 70,000	169,389 (137)	70 (101)	2,433 (135)
	交 雑 牛	メス	82 (99)	283,000 134,000	208,927 (108)	71 (95)	2,931 (113)
		雄	81 (99)	316,000 110,000	288,765 (102)	75 (99)	3,869 (104)
初 妊 牛			15 (100)	869,000 600,000	760,267 (111)		
搾乳用雌子牛			10 (100)	443,000 211,000	390,500 (89)		

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種別価格帯毎分布表

（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です）

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																								
		<35	36	～	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	～	52	～	55	56	57	58	59	60	61	62	63
ET和牛	メス	1	1		1																					
	雄					1	1	1	2	1	2		1	1		2		2	4	2	4		2	1	1	3
畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																								
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
乳 牛	メス							1	1																	
	雄								1		2			1	1	2	6	17	37	22	1					
畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																								
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
交雑牛	メス			1	1	3	4	2	3	15	20	7	3	8	8	3	3		1							
	雄	2						1			1	1		2	1	2	2		8	13	39	9				

初妊牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

価格帯 (万円)	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	～	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
初妊牛	1					1		1	1	1	1		2		1		2	1	2		1				
価格帯 (万円)	<20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
搾乳用雌子牛		1							1													2	3	2	1

ZENOAQ コーナー Vol.157



乳質改善最前線 「ディッピングの再認識」

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

《プレディッピングとポストディッピング》

ディッピングにはプレディッピング（搾乳前）とポストディッピング（搾乳後）の2通りありますが双方に目的が異なります。

- ・ ポストディッピング ⇒ 伝染性乳房炎の予防
- ・ プレディッピング ⇒ 環境性乳房炎の予防

〈ポストディッピング〉

乳房炎内感染の予防において単独でも最も効果のある方法です。

伝染性乳房炎の主要な原因菌は「黄色ブドウ球菌・無乳性連鎖球菌・マイコプラズマ」の3種類です。牛群内に1頭でも感染牛がいると約50%の牛がすぐに感染してしまいます。伝染経路は「牛から牛へ」「手から牛へ」と伝染します。

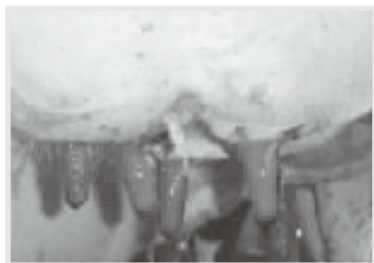
■ ポストディッピングを行う目的は次の二つです

①搾乳直後の乳頭に付着した牛乳を洗い流す。



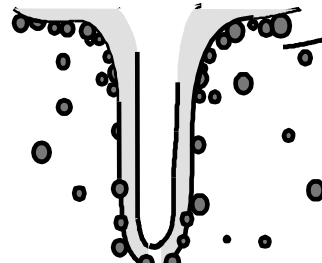
搾乳直後の乳頭は、ミルクの被膜で覆われている。これがバクテリアのエサとなり菌が増殖する基となる。

②搾乳直後に乳頭に付着している細菌を殺菌する。



そこで、ポストディッピング剤で乳頭の被膜を洗い流すことで、菌の増殖を押さえる効果が期待できる。

搾乳直後にポストディッピングを使用しない場合



増殖した菌が乳頭口から侵入し、乳房内感染を起こします。

■ この二つの目的を果たすためには

殺菌効果の保証されているポストディッピング剤を、ミルカー離脱後すぐに乳頭の80%以上をしっかりとポストディッピングすることが重要です。

伝染性乳房炎の50%はポストディッピングでコントロール可能です。しかし、正しくディッピングを行わなければ効果は望めません。



この乳房が感染
する可能性が高い

■ 優れた衛生の大切さ

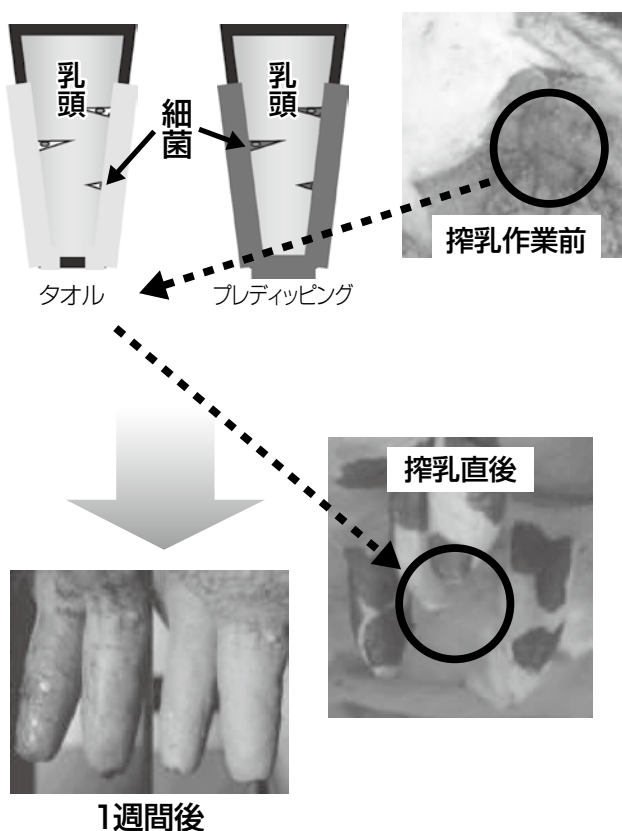
乳房炎コントロールの基本は、その予防にかかっています。予防には、搾乳前・搾乳中・搾乳後、そして搾乳と搾乳の間に、乳頭を汚染する乳房炎原因菌の菌数を最少にすることが一番の近道です。

■ 搾乳と搾乳の間にも細菌の伝播は起こる

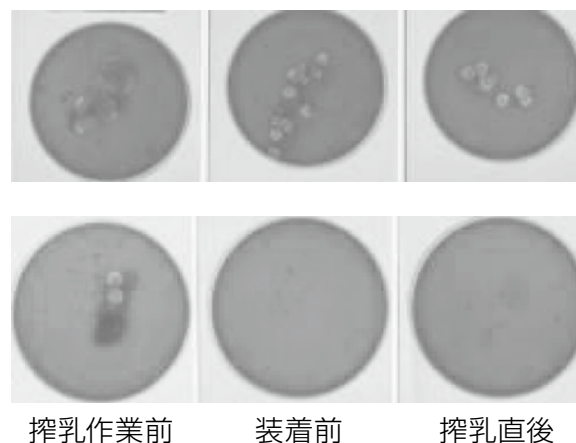
可能性のある伝播方法は、①汚染された敷料や土壌、②後肢の乳頭への接触、③尾を振ること、④乳頭や分房を舐めること、⑤ハエ、⑥水分が牛の脇腹から乳頭へ流れる結果になる、ホースやスプリンクラーで必要以上に牛を濡らすこと、が含まれる。搾乳と搾乳の間で最も頻繁に伝播される細菌は、環境性連鎖球菌と大腸菌群です。

■ 消毒剤に浸けたタオルとプレディッピング剤との比較

タオルを使用した場合、皮膚の奥までの浸透性が悪く消毒がなかなかできません。しかし、プレディッピング剤は浸透性が高く、乳房炎原因菌の菌数を最少にすることやひびわれた乳頭をなめらかでソフトな状態に保つことができます。



○消毒剤に浸けたタオルを使用した場合



○プレディッピングを使用した場合

プレディッピングを使用した場合は、装着前の菌数が激減していますが、消毒剤に浸けたタオルを使用した場合は装着前でも菌数が減っていません。この状態で搾乳をすると乳房炎は間違いなく起きてしまいます。

確認です…乳頭口は綺麗ですか？

真冬の乳頭にコンディションと殺菌力を求める酪農家さんへ



プレにおすすめ
クォーターメイトA

ポストにおすすめ
ボバダイナA
ブロックエイドA



ポスト用
ウィンターエイド

平成28年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会入賞レシピ



ミルクチョコ餃子

福島県立相馬農業高等学校
齊藤 香純さんの作品



材料

(材料:4人分)

・小麦粉 ……………	200g	・板チョコ……………	40g
・お湯 (40℃) ……	100ml	・バナナ ……………	50g
・牛乳 ……………	420ml		



●作り方

- ① お湯と小麦粉と牛乳を混ぜ、手でコネまとめラップをして約30分冷蔵庫で休ませる。
- ② ①を30分後にもう一度粘りが出るまでよくこねる。(つるっとまとまればOK)
- ③ 餃子の皮の生地を4分割して細長く (15cmくらい) のばす。
- ④ 包丁で1本の生地を5等分に切る。
- ⑤ 餃子の皮の断面を上にして手のひらで円形に潰す。
- ⑥ 打ち粉をしながら麺棒で餃子の皮を直径7～8cmくらいまでのばす。
- ⑦ 周りをすりこぎでのばし、10cmくらいの円形を作る。
- ⑧ ⑦に溶かしたチョコと1/4に切ったバナナをのせ、まいたら出来上がり。
(餃子の皮は具をのせる前に焼く。)

ポイント

売っている餃子の皮を使うのではなく、自分で最初から作ったところ。



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(♡)する話題がいいですね)
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : hi-masiko@fukuraku.or.jp・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里塚17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>